

Local Industries Promotion
Center of Takaoka Area

来て、見て、楽しい！ タカオカ ジバサン センター

タクシー

高岡駅より 約10分

JR新高岡駅より 約20分

お車

能越自動車道 高岡により約15分

高岡北により 約10分

富山駅より 約40分

金沢駅より 約1時間

コミュニケーションバリエーション

高岡駅から「バリエーション」で下車してください。

【左回り：35分、右回り：22分】

(公財) 高岡地域産業センター

入館料 無料

開館時間 4月～10月 9:00～18:00

11月～3月 9:30～17:00

休館日 毎週火曜日・12月29日～1月3日

駐車場 バス10台・乗用車63台

住所 〒933-0909

富山県高岡市開発本町1-1

電話 0766-25-8283

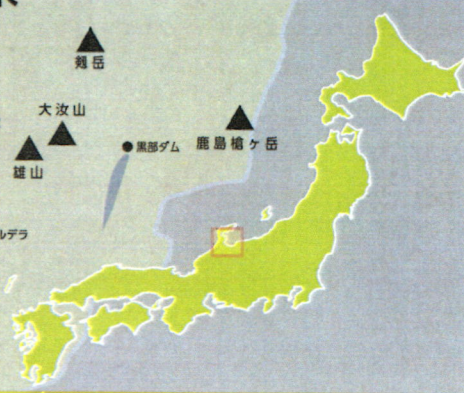
ファクス 0766-26-7323

URL <http://www.takaokajibasan.or.jp>

E-mail gccenter@orion.ocn.ne.jp



ll
lll
ll



高岡地域 地場産業センター



高岡地域地場産業センターは、高岡市をはじめとした富山県西部を中心とした県内の地場産業振興のため、昭和 58 年 4 月に開館しました。館内には、産業資料館や常設展示場などがあり、県内伝統的工芸品の歴史や技術、商品について、見学や購入が可能です。館内外には高岡ならではの鋳物技術も散りばめられており、壁面レリーフをはじめ、スイッチカバーや車止めなどの造作が特徴的です。

右写真 ▶ 国の重要有形・無形民族文化財である高岡御車山を、3分の1に複製・展示。

みどころ
いっぱい
ございます！



体験教室概要



高岡の伝統的工芸品の技を、一部体験できます。5名様から 40 名様までお受入れ可能ですので、体験学習やグループ旅行などにご活用ください。

※ 2 週間前までにご予約ください。

※ 40 名様以上の場合にはお問い合わせください。



2F オリジナルの鋳物をつくろう！ 鋳物体験工房

現在高岡銅器の鋳物産業でよく使用される「生型鑄造」を用い、鋳を使った鋳物を作ります。

体験内容（2 時間半）

原型の砂込め → 鋳込み → 仕上げ

ミニ水盤……………2,300 円

ぐいのみ……………2,300 円



1F オリジナルの漆器をつくろう！ 漆器体験工房

漆器の小物に蒔絵や螺鈿を施し、オリジナルの作品を作ります。

体験内容（2 時間）

絵柄決定 → 下絵 → 蒔絵 → 貝付け

ペンダント……………2,800 円

ミニパネル……………3,000 円

コーヒーカップ……………3,000 円

湯のみ……………3,000 円

※ お急ぎの場合はご相談ください。





1F
資 産 業 館
工芸の工程が
わかる！

県内の5つの伝統的工芸品（高岡銅器、高岡漆器、井波彫刻、庄川挽物、越中和紙）の製作工程や歴史、優れた作品などを展示しています。



1F
販 売 場
富山のお土産を
買うならここ！

伝統的工芸品やアルミ鍋、へちま加工品といった地場産品が一堂に展示されています。地酒や銘菓、加工食品なども揃っており、見学しながらショッピングも楽しめます。



文化財の修理が見られます
文化財修理工房

長く培われた技術を活かし全国の文化財の修理を手掛ける高岡地域文化財等修理協会が、大型品の修理作業を行っている工房です。窓越しに見学できます。



3000人分のお鍋ができる！？
巨大なアルミと銅鍋

高岡の冬の風物詩「日本海なべまつり」をはじめ県外の催事や炊事にも利用されている直径2mを超える銅とアルミの大鍋が展示してあります。



藤子・F・不二雄先生 幻の名作
緞帳 どんちよう

高岡市出身の漫画家、藤子・F・不二雄先生が原画を描いた小ホールの緞帳。子供たちの乗った船が雲間を進んでいく、ファンタジックなデザインです。



高岡ならではの存在感
観音像

建物前の金色の観音様は30年来当館と国道8号線を見守るランドマーク。全国に展開する高岡銅器大型鋳造品のサンプルでもあります。

地場産センターで買える地場産品！

展示場には常時約1万点の地場産品が展示販売されています！
数ある中からお土産に最適な食品・工芸品の一部を紹介します。



お買得な
富山の特産品
お土産にどうぞ



ガラス小物



紙塑人形



和菓子



農産物加工品



乾麺



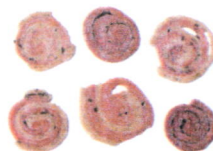
和紙小物



スゲ細工



真鍮や青銅の風鈴



米菓



地酒



香炉・香立



花器・花瓶



魚肉加工品



へちま加工品



彫刻置物



挽物茶器



銅合金置物



漆器製品



錫酒器・雑貨



挽物食器

とやまの地場産を 紹介します。

沢山の中
から抜粋して
ご紹介！



高岡地域の地場産品には、長い歴史に培われ、生活に密着しながら成長してきた工芸品が多く、その製品は伝統的技術・技法による独特の味わいがあります。なかでも、高岡銅器・高岡漆器・井波彫刻・庄川挽物木地・越中和紙は、国の伝統的工芸品に指定されています。

高岡銅器

高岡銅器は、江戸時代初期の高岡開町とともに始まり、長い伝統を誇ります。鋳物づくりの技を高め、梵鐘などの大型の鋳造品から花器、茶器、仏具など多くの製品を生産し銅合金製品の出荷額、販売額は全国一です。



高岡漆器

高岡開町の頃に始まった漆器生産は、常に時代の先端技術を取り入れ発達を続けてきました。彫刻塗、青貝塗（螺鈿）、総合加飾とも言える勇助塗による、精巧な美しさが特徴です。



井波彫刻

遠近感のある透かし深掘りの欄間など、精巧な技を駆使して作られます。かつて焼失した寺院の再建のため派遣された京都の御用彫刻師に学び、現在は建築彫刻だけでなく様々な製品を作っています。



庄川挽物木地

ろくろ挽きにより、椀や盆など主に漆器の素地を製造し、全国の漆器産地と繋がりががあります。材木を長い板状に製材してから木取りを行うことで木目の流れが楽しめる「横木取り」が特徴です。



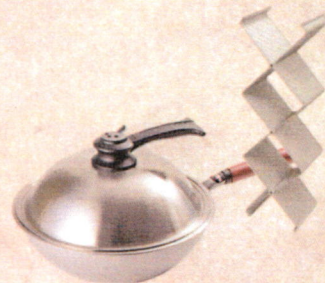
越中和紙

延喜式にも記述がある和紙生産。加賀藩の文書や売薬の包紙にも使われ、県内の歴史と密接な結びつきを持つ産業です。現在も活発な商品開発を行い、全国でも勢いのある産地の一つです。



アルミ製品

豊富な電力と水運、そして銅器鋳造の地盤を基に明治期に導入されたアルミ産業。家庭日用品・車輛部品・住宅建材・ビル用建材など現在も日本のアルミ産業の大きな拠点となっています。



へちま

豊かな土壌と水を用いて栽培されるへちまは、エコや自然素材が見直される昨今注目の素材。化粧水・石鹸やお茶など、30年来無農薬栽培を続けて来たからこそその安心感が魅力です。



菅笠

江戸時代には「加賀笠」と呼ばれ主に女性用の外出用の笠が全国に出荷されていました。その技術は平成 20 年に国の重要無形文化財に指定されています。



仏壇

国産木材を使用した組み立て式の仏壇。建具、箔押、金工、漆工など様々な職人の技の組み合わせによるものです。近年は小型でデザイン性の高いモダン仏具も展開しています。

ガラス製品

富山市では近年ガラスをテーマにしたまちづくりを進めており、多くのガラス作家が様々な商品・作品を世に送り出しています。

富山の薬

17 世紀後半富山藩で進められた和漢薬研究。越中の薬は先用後利の配置薬システムと共に全国へ広まりました。現在も多くの企業が県内で薬品開発・製造を行っています。

富山のお酒

県内をぐりと取り囲む高い山々からの雪解け水と豊かな土壌で育んだ米を用い、県内各地で多くの地酒が作られています。



銘菓

高岡地域には、京都や金沢の流れを汲む和菓子の伝統が広がっています。茶道も盛んなことから、美しく上品なお菓子も多く作られています。



米菓

米菓は富山の自然の恵みそのもの。県内産の糯米に昆布や大豆、海の幸など多様な美味しさを組み合わせた商品が作られています。

魚介・水産加工品

水深が深く、また寒流・暖流の双方が流れ込むため豊富な魚種が存在する富山湾。浅瀬の魚から深海魚まで多くの魚が水揚げされ、様々な加工されています。

チューリップ球根

山々から流れ出す急流が作り上げた水はけのよい土壌を活かし高岡市・砺波市を中心に県内一円で球根栽培が行われ、全国一の出荷量を誇ります。

地場産センター
のある高岡市
のご紹介です！

高岡のみどころ

高岡地域地場産業センターのある高岡市には
他にもみどころがたくさん。

地域の「ものづくり」に絡めてご紹介します！



国定公園雨晴海岸

日本渚百選などにも選ばれる、富山湾の向こうに 3000m 級の立山連峰を仰ぐ、希少な景観。かつて国主として赴任した大伴家持が歌に詠み、多くの人の心を魅了し続けてきた美しい風景は、工芸品の意匠にも取り入れられています。2014 年、「おくのほそ道の風景地」のひとつとして名勝に指定されました。



国宝高岡山瑞龍寺

加賀前田家二代当主で、高岡の開祖である前田利長公の菩提寺。総門、山門、仏殿、法堂の主要伽藍を一直線に、左右対称に禅堂と大庫裡を配置し、周囲に回廊を巡らせた典型的な禅宗様式の建造物です。総けやきの山門や緑青に変化した鉛葺きの大きな屋根を持仏殿など、荘重な雰囲気漂う名刹です。



高岡市指定文化財 高岡大仏

奈良、鎌倉と並んで日本 3 大仏に数えられ、銅器の街・高岡を象徴するスポットでもあります。明治時代に木造の大仏が焼失したことから、多くの市民の浄財と銅器職人の協力を得て再建が試みられ、1933 年ようやく開眼法要を行うに至りました。



富山県指定史跡 高岡古城公園

1609 年富山城の火災により、加賀前田家第 2 代当主利長が築城を開始。1615 年の一国一城令で廃城となりましたが、土塁や濠などは築城当時のまま。総面積の約 1/3 を水濠が占める水濠公園として、また桜の名所としても知られます。公園内にはあちこちにブロンズ像が配され、高岡らしい市民の憩いの場となっています。



金屋町

高岡開町に伴い、前田利長公が鋳物師を定住させた場所。水運だけでなく、作業のための川砂の利用、万一の際の防災を兼ね千保川に沿って開かれたと言います。「さまのこ」と呼ばれる格子戸の連なる古い家並みが特徴で、2012 年重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。



国指定重要有形・無形文化財 高岡御車山

1588 年、太閤豊臣秀吉が、時の帝を聚楽第にお迎えする際に使用した御所車を加賀藩初代藩主・前田利家公が拝領、二代・利長公が高岡城を築くにあたり町民に与えられたのが始まりと伝えられています。高岡の優れた工芸技術の装飾が施された華やかな山車。例年 5 月 1 日に奉曳されます。



高岡御車山会館ショップ

山町筋にオープンした高岡御車山会館内にあるアンテナショップ。工芸品をはじめとした地場産品の中から、季節に応じたおすすめ商品を紹介しています。ギフトやお土産に適した商品を多数取り揃えております。